



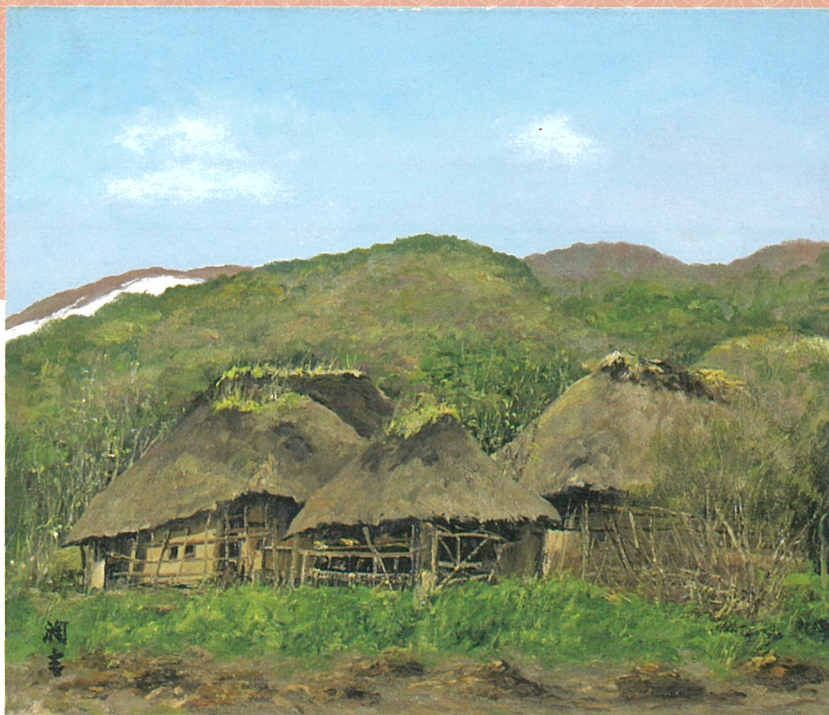
《雪の部落》[栃木県塩谷郡栗山村野門]1978年



《山間草炎》[山形県東田川郡朝日村田麦俣]1962年

# 向井潤吉からの贈りもの

自選寄贈作品一挙公開!



《遠野の春》[岩手県遠野市砂子沢]1977年



《奥会津十月》[福島県南会津郡只見町]1974年

2023

4.1 | 土 | — 9.10 | 日 | 向井潤吉アトリエ館

世田谷美術館分館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

開館時間 | 10:00~18:00(最終入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)は休館  
観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) \*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \*世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料 ※[ ]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

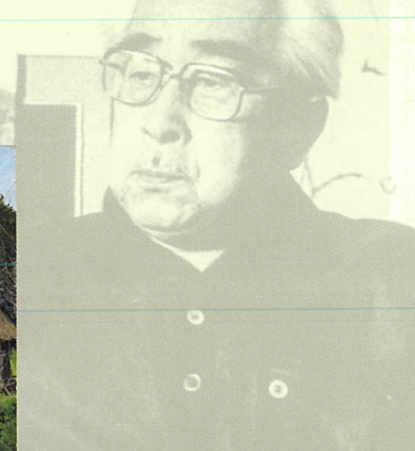
向井潤吉アトリエ館は、本年で30周年を迎えます。

本展では、向井潤吉本人の自選による寄贈作品28点を特別に一挙公開します。これらは、アトリエ館の開館に先立つ1983年に、区立美術館設置(世田谷美術館、1986年開館)の準備を進めていた世田谷区に対し、向井が大切にしていた作品のなかから選りすぐって寄贈したものです。いずれも向井が民家を描く画風を確立させた1960年代以降の充実した制作時期のもので、故郷の京都や好んで取材した長野、東北各県などを含む、各地の風景が描かれた優品ぞろいの作品群となっています。これまでも折々にアトリエ館で展示してまいりましたが、一堂にまとめてご紹介するのは今回が初めてとなります。

向井はその後、一六十年もの長い間お世話になってきた世田谷区での美術文化の発展と青少年の啓発にお役に立つことができました」と、私費を投じて自宅兼アトリエを美術館に改装し、600点あまりの手にあつた作品とともに世田谷区に寄贈し、1993年7月10日、世田谷美術館の分館として向井潤吉アトリエ館が開館しました。

向井潤吉からの大きく、ゆたかな贈りものであるアトリエ館、そして自選寄贈作品28点に向き合っていたとき、世田谷の地を愛し、日本の原風景を追いつづけた画家のまなざしと思いにふれていただければ幸いです。

小コーナーでは近年新たに寄託された、若き日の向井がパリ留学時代にルーヴル美術館で取り組んだギュスターヴ・クールベの大作(画家のアトリエ)(現・オルセー美術館蔵)のほぼ実寸大の摸写作品(部分)もご紹介いたします。



館内風景 撮影:上野則宏



《水辺の曲り家》  
[岩手県稗貫郡大迫町内川目] 1976年  
※[ ]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。



《雨後千曲川》[長野県下水内郡豊田村豊津谿] 1977年

30周年記念 無料開館

7月15日(土)、16日(日)、17日(月・祝)の3日間は入館無料となります。皆さまのご来館をお待ちしております。

世田谷美術館分館  
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



撮影:上野則宏

【交通案内】

- 東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分
- 東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分
- 東急バス(渋05)渋谷駅〜弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分

“Instagram”  
アカウントを開設しました!

画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



世田谷美術館分館  
宮本三郎記念美術館

〒158-0083  
東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>  
FLOWERS and FLOWERS 宮本三郎の描く花・華  
2023年4月1日(土) - 9月10日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館  
清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066  
東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>  
清川泰次 絵画とテキスタイルデザイン  
2023年4月1日(土) - 9月10日(日)



©宮本和義



世田谷美術館  
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075  
東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 世田谷美術館コレクション選 わたしたちは生きている! セタビの森の動物たち       | 2月18日(土) - 4月9日(日)  |
| 麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン                     | 4月22日(土) - 6月18日(日) |
| シャガール 版にのした光の詩 — 神奈川県立近代美術館コレクションから         | 7月1日(土) - 8月27日(日)  |
| 土方久功と柚木沙弥郎 — 熱き体験と創作の愉しみ                    | 9月9日(土) - 11月5日(日)  |
| I 山口勝弘と北代省三展 — イカロスの夢                       | 4月22日(土) - 7月23日(日) |
| II 雑誌にみるカットの世界 — 『世界』(岩波書店)と『暮しの手帖』(暮しの手帖社) | 8月5日(土) - 11月19日(日) |

ミュージアム  
コレクション

※ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒、検温にご協力ください。館内で十分な距離を保たない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。  
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合がございます。  
※会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

【展覧会のご案内】  
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)